

単元名 タグラグビー

日時 平成29年5月31日～6月20日

場所 和歌山市立中之島小学校 運動場（雨天時は体育館）

学級 4年2組 33名（男子16名 女子17名）

授業者 山本 敦子

こんな授業に・・・

子どもたちが好きな「鬼遊び」が発展したボールゲームである。“相手にタグを取られないようにかわしながら走ったり、味方とパスをつないだりして、ゴールラインまでボールを運ぶこと”を運動のおもしろさとして、個人の動きやチームの作戦を考える授業をめざした。

SD課題・・・自分でボールを運ぼう

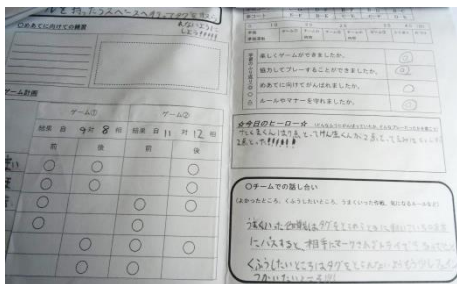
AD課題・・・友だちと協力してボールを運ぼう

○ゲームの進め方（ルール）

- ・試合開始と得点後は、中央からフリーパスで始める。
- ・ボールを持ってゴールラインをこえたら得点（トライ1点）
- ・スローフォワード
- ・タグを取られたらすぐに止まって、味方にフリーパスする。
- ・ボールを持ったままタッチラインをふむ、パスしたボールがラインから出た時は、その場所から相手ボールになる。
- ・タグを取ったら「タグ！」と大きな声で言う。

○ゲーム5分・チームの時間2分・ゲーム5分

○1チーム5～6人 ゲーム対戦は4人対4人



チームでの話し合い

自分たちの姿を客観的に見られるように移動図をかいて動きを確認する。

用具

- ・ボールは 楕円系 300g
グリップ性があり、
握りやすいものを使用
(MIKASA 製)



～学習カード・チームでの話し合いより～

タグをとられたり、ラインから出たときに、すぐパスをしたことがよかった。ボールを持ったら、てきがないところに走る。

〇〇君にパスすると見せかけて〇〇君にパスする作戦が上手くいった。

ときどき、後ろに行きすぎて、点をとれないから、後ろに行かないようにする。前に行くことをもうちょっとがんばっていきたい。

強く投げすぎて相手にボールをとられた。だから、パスのきよりをちぢめて相手にボールをとられないようにする。

パスのとき、もう少しきよりをちぢめる。てきの少ない所へ行くことが大切。

うまくいった作戦は、タグをとられたときに動いている味方にパスすると、相手にマークされずトライできるってこと。

くふうしたいところは、タグをとられないよう、もう少しフェイントをつかいたいところ。

授業を通して（成果・課題）

- ・空いているスペースを知るために「移動図をかく」ということを本授業で取り入れた。作戦が上手くできているか、使えていないスペースがないかを客観視するのに役立ったように思う。
- ・ゲームに出ていない子から、「前へ行け！前！」「右、右空いてる！」など必要な声かけがたくさんできていた。チームとしての協力ができていたように思う。
- ・「タグさえ取れば、攻撃を止められる」ということが、走ることが苦手な子も運動を楽しむことができた要因の一つだと感じた。
- ・「移動図」がもっと話し合いを活発にさせると考えていたが、それほど活用することができなかった。話し合いを焦点化していくため、子どもにきちんと観点を持たせ、その上で資料となるデータをとる必要があるのだと感じた。